

学術大会発表論文投稿規定

本国際学術大会において発表を希望する者は、原稿締切日を厳守すると同時に以下の要領に基づいて原稿を提出しなければならない。

注) 実行委員が事務処理をするにあたり、原稿の遅延や不統一は、実行委員のみならず、韓国・中国・日本等の参加者を含む多くの関係者に迷惑をかけるので原稿の締切日厳守と書式の統一にご協力をお願いいたします。

<書式>

1. 本大会は、英語又は母国語による発表とする。ただし、3. に述べるテーマ等は英文で行う。
2. 論文集に収録する論文は、MSワードを使用し、フォントサイズ 10.5p、A4版 40字×40行で約10枚とする。
3. その1ページ目には、「テーマ（英文）」、「要約（英文）」、「発表者の所属と氏名（英文）」を明記する。
4. 原稿枚数に制限があるため、参考文献、参考資料、注の明記は不可欠であるが、最小限に止めること。

<申込と締切>

論文のテーマは、2014年6月30日（月）までに、発表する論文は、2014年7月26日（土）までにEメールで事務局（吉岡）へ提出する。

<注意事項>

本研究会の発表者は、研究会当日発表用の原稿20部を研究参加者に配布する。

また、原稿の枚数に制限があるため、十分に意を伝えられないことも考えられる。補足資料を20部程度、各自持参すること。翻訳要旨等。

<査読>

原稿は、査読体制を執り別表の評価項目により査読を実施するが、査読を必要としない発表者は、上記規定を順守して提出のこと。なお、必要があれば修正を求める場合がある。

評価項目

1. 研究目的、問題意識の明確性
2. 文献および関連研究の総括の妥当性
3. 理論と仮説の明確性と妥当性
4. 方法（数量的分析・事例研究）の妥当性
5. 統計処理、図表の表示法の妥当性
6. 結果の記述の明確性、結果の有意性
7. 考察および理論的解釈の妥当性
8. 研究の独創性
9. 実務的重要性
10. 論文構成と文章表現の妥当性